

小中一貫教育目標

子どもの主体性と自立を目指す9年間の義務教育の想像
「西院の子 心でつなぐ5つの約束」

学校教育目標

夢に向かって 自分を大切にし 他とのつながりを大切にできる子の育成
～ 一人一人が輝き 愛される西院の子 ～

目指す学校像

- ・勉強がわかり、一人一人が認められ、安心して生活できる学校
- ・児童も教職員も毎日生き生きと過ごせる学校

目指す子ども像

- ・自ら考え行動し、ルールやマナーが守れる子
- ・互いに認め合い、思いやりのある子
- ・夢に向かい健康で命を大切にし、
粘り強く取り組み、周囲に必要とされる子

目指す教職員像

- ・自ら考え、主体的に行動する教職員
- ・しなやかさをもって同僚と協働する教職員
- ・子ども、地域、学校のために取り組み、
必要とされる教職員

1 学校教育目標について

人口減少や高齢化、グローバル化やDXの進展、国際情勢の不安定化等、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、将来の予測が困難な時代となっている。多様なすべての子どもの可能性を最大限に引き出す教育への転換が必要である。自ら豊かな人生や社会を拓いていくためには、社会の変化や直面する問題に主体的に向き合い関わり合っていく力と同時に、他者と協働しながら問題を解決しようとする力が重要である。そこで、新しい時代に求められる資質・能力を育成するため、本校の児童の実態やこれからの社会を生きる人材に必要な力を考え、本校の学校教育目標を「夢に向かって、自分を大切にし、他とのつながりを大切にする子の育成 ～一人一人が輝き愛される西院の子～」と設定した。

学校教育目標実現に向け、「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成」という生徒指導の実践上の4つの視点を基盤とし、児童一人一人の「自己指導能力の育成」を図っていきたい。「居場所」「仲間」「理解ある大人」「安心・安全」を感じられる学校にしていきたい。

2 今年度の重点について

「主体的・対話的で深い学びのある授業の構築」

3 目指す子ども像の実現に向けて今年度大切にする取組

授業においては、「主体的、対話的で深い学び」となるよう、これまで培ってきた「思考ツール」や「知識構成型ジグソー法」等の手法以外にも話し合い活動の場を設定し、協調学習を進め、自分の思いを伝え、話し合い、互いに高め合う力を伸ばしていく。

(1) 学級経営を大切にした取組

「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」

「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成」

(2) 知識構成型ジグソー法を中心とした話し合い活動を大切にした

「主体的、対話的で深い学び」となる協調学習の授業実践

(3) 「西院の子 心でつなぐ5つのやくそく」の実践

